

世界 LNG 動向#95 2023 年 11 月

橋本裕*

はじめに

INPEX は、11 月末、日本企業として初めて、国際的メタン排出削減報告フレームワークである、OGMP2.0 (The Oil & Gas Methane Partnership 2.0) に加盟したことを発表した。アジア企業としては、2022 年 11 月のマレーシア Petronas、および 2023 年 11 月のタイ PTTEP (PTT Exploration and Production Public Company Limited) による加盟発表に続くもの。「日本企業初」という点で、日本の上流部門（ガスだけでなく石油含む）、LNG 液化部門参加している日本の他企業（商社、大手ユーティリティ）への波及効果、また豪州 LNG プロジェクトオペレーター企業としても早期の加盟という点で豪州の LNG 各社への影響可能性が注目される。

ほぼ同じタイミングで米 ExxonMobil も OGMP2.0 への参加を決めたことを明らかにしており、こちらもインパクトは大きい。

2023 年 11 月、世界では年間 800 万トン分の LNG 長期売買契約が締結された。これにより、2023 年に締結された世界全体での LNG ターム契約量は、年間 7300 万トンとなり、2022 年通年の契約量と並んだ。11 月分中、400 万トン分が米国 LNG 生産プロジェクトによる販売分であり、半数を占めた。

また、カタール QatarEnergy、による中国石化 (Sinopec) との North Field South (NFS) 拡張プロジェクトに関するパートナーシップ契約と一体となった年間 300 万トン・27 年間の売買契約 (SPA) が含まれている。中国石化との間では、2022 年 11 月の North Field East (NFE) プロジェクトでの年間 400 万トン・27 年間の SPA、および 2023 年 4 月のパートナーシップ契約に続く、2 件目となった。

米 Cheniere Energy は、2023 年 11 月、中国 Foran Energy (佛燃能源) との SPA、カナダのガス生産企業 ARC Resources 社とは長期 IPM (統合生産マーケティング) ガス供給契約・オーストリア OMV と SPA 締結により、Sabine Pass の拡張 (SPL Stage 5) プロジェクト計画を前進している。

[アジア太平洋]

株式会社 INPEX は、2023 年 11 月 29 日、日本企業として初めて、OGMP2.0 に加盟したことを発表した。

株式会社 JERA は、2023 年 11 月 29 日、冬季重負荷期 (12 月 - 2024 年 3 月) における

* 資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

需給対策を明らかにした。この中で、11 月 24 日付で経済産業省より戦略的余剰 LNG(SBL) の認定供給確保事業者として通知を受け、12 月から 2024 年 2 月にかけて月 1 カーゴの SBL を確保しており、同省からの要請に応じて、SBL を供給していくことを明らかにした。

韓国通商産業資源省 (MOTIE) の、2023 年 11 月 7 日付発表によると、主要発電企業が同省と面談し、様々な発電用燃料源により、2023/2024 年冬季の電力需要に対応できる、と述べ、LNG 供給見通しを重点的に説明した。

韓国の現代重工業 (HHI) は、2023 年 11 月 14 日、証券市場監督機関への報告の中で、合計 5.30 億米ドル、2 隻の LNG 輸送船舶受注を発表した。2028 年 2 月までにアフリカの海運企業に引き渡し予定。

中国生態環境省 (中〇人民共和国生〇〇境部) は、2023 年 11 月 7 日、メタン問題への対応計画 (甲〇 排放控制行〇 方案) を公表した。同国政府は、2025 年までの 5 年計画にて、メタン監視・管理システムの「効果的改善」、2026-2030 年に「大幅改善」を公約した。石油・ガス井の「フレアリング」削減、炭鉱におけるメタン漏洩の封殺を狙っているとしている。農業におけるメタン管理促進、廃棄物からのメタン管理強化も行うとしている。

米国、中国は、2023 年 11 月 14 日、気候変動対策に関する 25 項目の共同声明を発表した。中国側が 2035 年の NDC にメタンを含めるコミットメントを含み、米中は COP28 サイドラインで「メタンと、CO₂ 以外の温室効果ガスサミット」を開催するとしている。

中国の国家统计局の、2023 年 11 月 15 日付情報によると、同国の 1 - 10 月の天然ガス生産量は前年同期比 6.1%増の 189.6 bcm (1896 億 m³) だった。

PipeChina (国家石油天然气管网集团有限公司) は、2023 年 11 月 9 日、自社 7 件の LNG 基地について、2024 年 4 月以降分、3-20 年間の長期枠、2024 年 4 月から 2025 年 3 月の年間枠について、容量枠予約手続きを開始したことを発表した。同社は、11 月 10 日、天津 LNG 基地第 2 期第 2 段階が稼働開始したことを発表した。

中国石油化工集〇有限公司 (中国石化) は、2023 年 11 月 3 日、世界最大容量 27 万 m³ LNG タンクが、青島 LNG 受入基地で 2 日に正式に使用開始されたことを発表した。

タイ PTTEP (PTT Exploration and Production Public Company Limited) は、2023 年 11 月 16 日、OGMP 2.0 に参加する覚書 (MoU) を締結したことを発表した。

フィリピン First Gen 社 (FGEN) は、2023 年 11 月 16 日、LNG カーゴ 1 隻の国際入札を完了、Trafigura 社との契約を決定したことを発表した。Trafigura は、1 カーゴを、11 月 25 日から 12 月 25 日の間に、持ち届け (DES) 条件で、FGEN 完全子会社 First Gen Singapore Pte. Ltd に引き渡す。

インドネシア Pertamina 子会社 PGN (PT Perusahaan Gas Negara) は、2023 年 11 月 7 日、Gunvor Singapore 社との LNG 供給取引でフォースマジュールを宣言したことを明らかにした。

インドネシア Pertamina は、2023 年 11 月 14 日、ExxonMobil と、ジャワ海での CCS 設備開発に関して、協定を締結したことを発表した。

パキスタン Pakistan LNG は、2023 年 11 月 24 日、2024 年 1 月 8 - 9 日引き渡し分の 1 カーゴ DES 購入入札に、オマーン OQ Trading, Vitol, カタール QatarEnergy, Trafigura より応札があったことを明らかにした。

Excelerate Energy, Inc. は、2023 年 11 月 8 日、バングラデシュ Petrobangla との間で、長期 LNG 売買契約 (SPA) を締結したことを発表した。Excelerate は、2026 - 2027 年は年間 85 万トン、2028 - 2040 年は年間 100 万トンを引き渡す。

豪州気候変動・エネルギー相、資源相は、2023 年 11 月 27 日、連邦政府は 2030 年までの東部市場向けに追加ガス供給最大 300 PJ (7.5 bcm) を確保したことを発表した。豪州ガス生産企業 Senex Energy、Australia Pacific LNG (APLNG) プロジェクトと 2 件のコミットメント合計で、東部工業用ガス 2 年分に相当するとしている。

豪 Santos 社、東京ガスは、2023 年 11 月 21 日、豪州で e-メタンを生産し、日本向けに出荷することで協力することを発表した。2030 年に年間約 6 万トンの e-メタンを日本に輸出することを目指すとしている。

豪 Origin Energy は、2023 年 11 月 28 日、Curtis Island の APLNG (Australia Pacific LNG) 設備で、LNG 輸送船舶の電力供給停止により、カーゴ積み込みを停止したことを明らかにした。12 月 1 日、当該船舶が、出港したことを明らかにした。船主による修繕のため、安全な停錨地に、港湾、州海洋安全局、連邦海洋安全局の協力により移動された。この間、3 隻の LNG カーゴが積み込みを行えなかった。

Origin Energy は、2023 年 11 月 30 日、Brookfield Asset Management による Origin エネルギー事業買収提案の修正提案を、Origin 取締役会が却下したことを発表した。

Woodside 社の 2023 年 11 月 8 日の投資家説明会によると、インドネシアのバタンでの Pluto 第 2 系列モジュール建造は、51 件中 44 件が現在建造中で、進展している。Pluto 第 1 系列の Scarborough ガス処理のための改造のため、最近 EPCM 契約を発注した。Scarborough 浮体生産設備 (FPU) は、中国で船殻、上部構造組み立て進行中で、2026 年 LNG カーゴ引き渡し目標の裏付けとなっている。

豪 Woodside は、2023 年 11 月 6 日、2023 年上半期、同国連邦・州政府に税・ロイヤリティで 37 億豪ドルを納めた、と述べた。

豪州連邦政府による、環境保護 (海洋投棄) (気候変動対応新規技術利用) 改正案が、2023 年 11 月 13 日、自由・国民連合の支持を受け、議会上院を通過した。同法は、Santos 社に、Barossa ガス田開発に重要な Bayu-Undan CCS プロジェクト開発の道を開くこととなる。

豪 Santos は、2023 年 11 月 15 日、Barossa ガス搬出パイプライン (GEP) 中、86 km 区間は敷設活動が開始できるとの連邦法廷判断に言及した。この発表によると、この決定により、86 km 点以南では、活動を行わないこととなる。同法廷は、Santos が関係者と再度のコンサルテーションの後に環境計画を修正し、NOPSEMA が受理するまでパイプ敷設を制限することを求める申請に関する審議開始日程を 2023 年 12 月 4 日に設定している。

豪 Santos は、2023 年 11 月 22 日、アブダビ ADNOC との間で CCS 分野の戦略協力協

定締結を発表した。

豪 Woodside Energy は、2023 年 11 月 22 日、ティモールレステ政府が Sunrise 合弁事業に対して、Greater Sunrise ガス田群開発に関するコンセプトスタディ作業開始を許可した、と述べた。

[北米]

米国等 12 ヶ国が、温室効果ガス排出を削減するため、天然ガス供給チェーンを通じて測定を加速するワーキンググループを形成した、と米連邦エネルギー省 (DOE) は、2023 年 11 月 15 日、発表した。MMRV ワーキンググループは、メタン、二酸化炭素、その他温室効果ガスの排出の測定・監視・報告・認証を推進することを目指す。参加しているのは、豪州、ブラジル、カナダ、コロンビア、東地中海ガスフォーラム、欧州委員会、フランス、ドイツ、イタリア、日本、ノルウェー、韓国、英国、米国である。

米連邦エネルギー省 (DOE) 化石燃料・炭素管理局 (FECM) は、2023 年 11 月 17 日、月刊 LNG 報告・季刊天然ガス輸出入報告に代わる月刊天然ガス輸出入報告を発刊した。

Cheniere Energy, Inc. は、2023 年 11 月 2 日、Cheniere Marketing, LLC が、中国 Foran Energy Group Co. Ltd. (佛燃能源集⌘ 股份有限公司) との間で、長期 LNG 売買契約 (SPA) を締結したことを発表した。Foran は、LNG 年間 90 万トン・20 年間、Cheniere Marketing から、本船渡し (FOB) 条件、購入価格はヘンリーハブ価格連動プラス固定液化手数料条件で購入することに合意した。引き渡しは、ルイジアナ州 Sabine Pass 液化拡張プロジェクト (SPL 拡張プロジェクト) 2 番目の設備 (第 8 系列) 商業稼働開始とともに開始する。

米 Cheniere Energy, Inc., Cheniere Energy Partners, LP、カナダ ARC Resources Ltd. は 2023 年 11 月 29 日、前者の Sabine Pass Liquefaction Stage V, LLC (SPL Stage 5)、後者の ARC Resources U.S. Corporation had が、長期 IPM (統合生産マーケティング) ガス供給契約を締結したことを発表した。ARC Resources は、SPL Stage 5 向けに、Sabine Pass Liquefaction 拡張プロジェクト最初の系列 (第 7 系列) 商業稼働開始から 15 年間、日量 140,000 百万 Btu の天然ガスを販売することに合意した。SPL Stage 5 は、ARC Resources に対して、そのガスにオランダ TTF 価格に基づく LNG 連動価格を、固定気化手数料・固定 LNG 海上輸送コスト、固定液化手数料を控除して支払うこととなる。今回の IPM 契約は、第 7 系列 FID (最終投資決定) が条件となる。このガス供給に関わる LNG、年間 85 万トン程度は Cheniere Marketing International LLP が販売することとなる。今回は Cheniere ・ ARC Resources 間の 2 件目の長期 IPM 契約となる。Cheniere はまた、Cheniere Marketing が OMV Gas Marketing and Trading GMBH との間で LNG SPA (売買契約) を締結したことを発表した。Cheniere Marketing は OMV 向けに、年間最大 12 カーゴ、年間 85 万トン程度の LNG を、TTF 連動価格で 2029 年末から販売する。この LNG は OMV 向けに、オランダ Gate 基地 DES (持ち届け ex-ship) 条件で販売することとなる。

Cheniere Energy は、2023 年 11 月 2 日、Corpus Christi Stage 3 プロジェクトが引き続

き計画より先行して進展しており、同第 1 系列からの LNG 生産開始を 2024 年末までに見込んでいる、と述べた。

Sempra は、2023 年 11 月 3 日、同年第 3 四半期業績報告会にて、Cameron 第 2 段階エンジニアリング作業の精緻化について Bechtel と作業を進めており、同年末までに作業完了を見込んでいると述べた。同社はさらに、2024 年に最終投資決定 (FID) を行う目標である、と述べた。

米連邦控訴審第 5 巡回法廷は、2023 年 11 月 14 日、TCEQ (テキサス州環境品質委員会) による Sempra Infrastructure の Port Arthur LNG に対する大気対策許可を無効と判断を下した。

Freeport LNG は、州環境規制機関への提出文書によると、2023 年 11 月 13 日晚、朝方電力供給の問題でトリップした 3 系列とも、稼働復旧したことを明らかにした。Freeport LNG は、11 月 30 日、一時計画外停止した第 1 系列を再稼働した、と述べた。

Venture Global LNG 社は、2023 年 11 月 10 日、米国・EU (欧州連合) 当局者宛に、bp、Edison、Shell がこれらの当局者に提出した書簡に応じる形で、書簡を送付した。同社は、前記欧州各社の書簡が「Venture Global は、不当な利益を得るため、不正行為に関与し、長期契約買主との契約上のコミットメント履行を拒否しているという誤った主張を行っている」と述べている。

Venture Global LNG 社は、11 月 28 日、Calcasieu Pass LNG 設備でのユーティリティ関連設備の稼働開始許可を FERC (連邦エネルギー規制委員会) に申請した。

Glenfarne Energy Transition 社は、2023 年 11 月 9 日、テキサス州ブラウズヴィル港湾に建設予定の自社年間 400 万トン Texas LNG 輸出プロジェクトは、Baker Hughes 社を、電動モータードライバーを含む圧縮技術機器供給に選定したことを発表した。両社間のパートナーシップの一環として、Baker Hughes は同プロジェクトの大詰め段階にて、FID 前投資を行う枠組協定を有する。LNG 輸出開始は、2027 年末・2028 年初を期待される。

Delfin Midstream 社、Gunvor Group 社は、2023 年 11 月 27 日、Gunvor Singapore 社が Delfin LNG と SPA (長期 LNG 売買契約) を締結したことを発表した。Delfin LNG は年間 50-100 万トンの LNG を、Gunvor 向けに FOB (本船渡し) 条件で、ルイジアナ州沖 40 海里 (74 km) にて、15 年間以上引き渡すものとなる。

Commonwealth LNG は、2023 年 11 月 28 日、Carbonvert Inc. ・ Castex Carbon Solutions, LLC 間の合弁事業 OnStream CO2 LLC との間で、Commonwealth のルイジアナ州キャメロン郡で開発中の年間 930 万トン LNG 設備の CCS (炭素回収・貯蔵) 対応設備に向けた MOU (覚書) を締結したことを発表した。Commonwealth LNG は、2024 年上半期に FID (最終投資決定) を見込んでいる。

米 EIA (連邦エネルギー情報局) によると、天然ガスパイプライン容量日量 200 億立方フィート (20 Bcf/d, 年間 1.5 億トン相当) 以上が、FERC またはテキサス州鐵道委員会管轄下で、建設中の 5 件の LNG 輸出プロジェクトに天然ガスを供給するため、建設中、部分的

に完成、あるいは承認済み。

FERC、NERC(北米電力信頼性機関)は、2023年11月6日、ニューイングランド地方でのEverett基地喪失可能性、そのことによる同地域のエネルギー供給信頼性・安定価格での供給に対する影響について、引き続き懸念しているとする共同声明を発表した。

ExxonMobilは、2023年11月29日、OGMP 2.0に参加することを決めたことを明らかにした。

カナダPieridae Energy社は、2023年11月8日、カナダ東部LNG計画とも関わるGoldboro子会社・関連資産の売却手続きを開始したことを発表した。

New Fortress Energy(NFE)は、2023年11月8日、メキシコのアルタミラ沖最初のFLNG生産設備の設置、ガス生産開始を行ったことを明らかにした。最初のLNG、商業稼働開始は、2023年第4四半期末までに見込んでいる。

【中東】

アブダビADNOCは、2023年11月14日、ダス島3系列のLNG設備生産容量を、2028年までに現在の年間600万トン水準から、690万トン水準に拡張する計画であることを明らかにした。このLNG 2.0プロジェクトには、GHG排出削減のためLNG系列電化、LNGデボトルネッキング、エタン抽出・輸出が含まれる。

ADNOCは、2023年11月10日、世界で最も炭素原単位が低いLNG生産設備の1つを建設するRuweisでのプロジェクトで、FID(最終投資決定)に向け進展している、と述べた。Al Ruweis工業都市に立地、再生可能または原子力電力で運転する年間480万トンLNG系列2本を備えることとなる。

QatarEnergy、Sinopec(中国石油化工集団有限公司(中国石化))は、2023年11月4日、North Field South(NFS)拡張プロジェクトに関するパートナーシップ契約締結を発表した。両社はまた、年間300万トンのLNGをNFSプロジェクトから中国の中国石化(Sinopec)受入基地に、27年間供給するSPA(売買契約)を締結した。QatarEnergyは、NFSプロジェクトの年間600万トンLNG生産容量を所有する合弁事業の5%持分を中国石化(Sinopec)に移管する。このパートナーシップ契約は、中国石化(Sinopec)との間では、North Field East(NFE)プロジェクトを所有する合弁事業の1つに同社が参入した2023年4月締結のものに続く、2件目となる。今回の長期LNG SPAは、2022年11月締結された年間400万トン・27年間を供給するSPAに続くものとなる。

TotalEnergiesは、2023年11月2日、オマーンOman LNGとのパートナーシップ延長のため修正契約を締結したことを発表した。TotalEnergiesはOman LNG持分を、2024年を超えて10年間、Qalhat LNGについて5年間延長する。

Oman LNGは、2023年11月20日、bpとの年間100万トン、2026年から9年間のLNG売買契約(SPA)締結を発表した。

[アフリカ]

アルジェリア SONATRACH は、2023 年 11 月 22 日、自社とトルコ BOTAŞ が、LNG 売買契約を締結したことを発表した。特に両社は、協力関係を 3 年間延長することに合意した。

Shell は、2023 年 11 月 21 日、エジプト地中海 North East El-Amriya 鉱区での資源発見を発表した。Shell Egypt 社は、同鉱区 Mina West での 3 探査井計画で、1 本目の掘削を完了した。

ナイジェリア大統領府は、2023 年 11 月 21 日、自国とドイツの企業間で、ナイジェリアでガスフレアリングを削減し、回収したガスを LNG 化して最大年間 120 万トンを経済的にドイツに供給する計画に関して、声明文で述べた。ナイジェリア Riverside LNG、ドイツ Johannes Schuetze Energy Import が同プロジェクトに関する MOU（覚書）に合意し、声明によれば早ければ 2026 年よりドイツに年間 85 万トンを経済的に供給する可能性がある。

Kosmos Energy は、2023 年 11 月 6 日、セネガル・モーリタニア沖 Tortue LNG プロジェクト最初のガスは、2024 年第 2 四半期にずれ込む可能性がある、と述べた。Golar LNG 社は、2023 年 11 月 19 日、FLNG Gimi がシンガポール Seatrion 造船所から、Greater Tortue Ahmeyim (GTA) ハブへと出発したことを発表した。航海は喜望峯経由前のモーリシャス、さらにその後ナミビアでの燃料充填後、60 日間で完了する見込み。

タンザニアのエネルギー省は、2023 年 11 月 10 日、ウガンダとの間で、タンザニア南部よりウガンダに天然ガスを輸送するパイプライン建設に関して、協定を締結したことを発表した。

[欧州・周辺地域]

欧州理事会（元首・首長級）、欧州議会は、2023 年 11 月 15 日、エネルギー部門メタン排出の追跡・削減に関する規制に関して、暫定政治的合意に達したことを発表した。特にエネルギー源の輸入に関して、理事会・議会は 3 段階の実施に合意した。第 1 段階はデータ収集、メタン排出源世界的監視手段・スーパーエミッターへの迅速対応メカニズムの構築に焦点を置く。第 2、第 3 段階では、2027 年 1 月 1 日までに、EU 向け輸出者により、公平な監視・報告・認証手段が適用され、2030 年までにメタン原単位上限が適用される。

チェコ ČEZ Group は、2023 年 11 月 23 日、ドイツ Stade LNG 基地で長期容量年間 2 bcm を契約したことを発表した。同基地はハンブルグ近くで建設中、オペレーター Hanseatic Energy Hub は 2027 年稼働開始予定としている。

ドイツ Uniper 社は、2023 年 11 月 26 日、2021 年初に始まった国際商工会議所規則下での仲裁手続きにより、同 24 日、自社子会社が敗訴通知を受けたことを発表した。この Uniper 子会社・欧州のあるエネルギー会社間の仲裁手続きは、LNG 供給長期契約の価格条項に関するもので、2016 年 Uniper 分離前に締結され、その後、満了している。当該長期契約の遡及価格変更に関わる推定 5.50 億ユーロの相手方企業への支払いが、今回仲裁の条

件下でなされることとなる。

スペインのガスパイプライン網操業企業 Enagás は、2023 年 11 月 10 日、顧客向け通知の中で、自国への LNG タンカーでの引き渡し柔軟性が、最近の嵐の結果、タンク在庫水準が高く、減殺される可能性が高い、と述べた。

スペインの電力会社 Endesa は、2023 年 11 月 20 日、長期供給をめぐる紛争仲裁の結果、国際商工会議所 (ICC) 仲裁法廷より、ある LNG 生産者に対して 5.70 億米ドルの支払いを命じられたことを発表した。Endesa はこの支払について「遡及価格精算」となる、と述べた。

Enagás は、2023 年 11 月 28 日、欧州委員会が、共通の利益プロジェクト (PCI) 案に、スペインの水素根幹ネットワークの最初の一群となる H2Med コリドール、地下水素貯蔵設備 2 件を含めて、採択したことを発表した。この PCIs リストは、2024 年初承認のため、欧州評議会 (首脳レベル)、欧州議会に提出される。

欧州委員会は、2023 年 11 月 16 日、ポーランドが自国天然ガス貯蔵法にて、天然ガス越境取引に従事している企業に制限的な義務を課しているとして、欧州司法裁判所に審議を求めたことを決めたことを発表した。

ポーランド GAZ-SYSTEM 社は、2023 年 11 月 14 日、グダニスク湾で気化基地となる最初の FSRU (浮体貯蔵・気化設備) 引き渡し・利用に関する枠組を設定する協定 (タームシート) を 2 船主と締結したことを発表した。気化業務は、2028 年初開始で計画されている。商船三井 (MOL)、BW LNG が選定された。

ポーランド Gaz-System は、2023 年 11 月 17 日、FSRU 2 のオープンシーズン (容量利用者公募) 登録者による拘束力あるオファーの提出期間が 10 月 27 日で締め切りとなったことを発表した。この過程では同プロジェクト推進に十分な水準の拘束力ある注文が得られなかった。1 件目の FSRU プロジェクト開発は継続している。

米連邦財務省は、2023 年 11 月 2 日、Limited Liability Company Arctic LNG 2 も含めて、ロシアに対する技術制裁の新段階を発表した。三井物産は、3 日、Arctic2 社制裁の影響について精査の上、必要な措置を講じることを発表した。

欧州議会は、2023 年 11 月 9 日、EU 市場をロシア産化石燃料に対して完全閉鎖すること、ロシア産 LNG ・ LPG 輸入完全禁止を求める決議を採択した。この決議は欧州議会議員の多数意見を示したが、法的拘束力ある禁止ではなかった。

[南米]

ブラジル Petrobras は、2023 年 11 月 24 日、5 年計画を発表した。1020 億米ドルの投資目標が含まれ、前回 5 年計画から 31%増となる。探査・生産活動が合計の 72%、730 億米ドルを占める。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2023 年 11 月 6 日、浮体貯蔵・気化設備 (FSRU) Energos Winter をブラジル Petrobras から、2023 年 12 月開始で備船する契約を締結した

ことを発表した。FSRU は、直ちにサンタカタリーナ州での NFE 新規 LNG 輸入基地 Terminal Gas Sul (TGS) に配置される。

McDermott は、2023 年 11 月 28 日、Shell Trinidad and Tobago 社から、トリニダードトバゴ東側沖 Manatee ガス田開発プロジェクトに関して、EPCI (エンジニアリング・調達・建設・設置) 契約に関して、限定推進通知を受けたことを発表した。Shell が FID (最終投資決定) を行うことを条件として、プロジェクト範囲は、井戸元プラットフォーム、沖合・陸上パイプラインの設計・調達・組み立て・輸送・設置・コミッショニング作業となる。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: report@tky.iej.or.jp